



2023年3月期 第2四半期決算に関するお知らせ

日本酸素ホールディングス(株) (社長 CEO: 濱田 敏彦) は、2023年3月期第2四半期の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、ウェブサイトを開示しております決算短信および決算電話会議資料をご覧ください。

記

1. 2023年3月期 上半期 (4月-9月) 業績概要

当該期間における当社グループの事業環境は、ウクライナ情勢の長期化などに関連した世界各地でのエネルギー価格の高騰、世界的な物価上昇、円安のさらなる進行など、先行きを見通すことが困難な厳しい事業環境となりましたが、セパレートガス (酸素、窒素、アルゴン) の出荷数量は、前期並みに推移しました。

このような状況の下、当社グループの業績は、売上収益 5,736 億 99 百万円 (前年同期比 28.2%増加)、コア営業利益 561 億 85 百万円 (同 12.7%増加)、営業利益 538 億 72 百万円 (同 8.2%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益 351 億 49 百万円 (同 2.5%増加) となりました。

(単位: 十億円)	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	上半期 (4-9月期)	上半期 (4-9月期)	増減額	増減率
売上収益	447.3	573.6	+126.3	+28.2%
コア営業利益	49.8	56.1	+6.3	+12.7%
コア営業利益率	11.1%	9.8%		
非経常項目	-0.0	-2.3	-2.3	
営業利益 (IFRS)	49.7	53.8	+4.1	+8.2%
営業利益率	11.1%	9.4%		
EBITDAマージン	21.3%	18.9%		
金融損益	-4.7	-4.2	+0.5	
税引前四半期利益	45.0	49.6	+4.6	+10.3%
法人所得税	9.8	13.2	+3.4	
四半期利益	35.1	36.4	+1.3	+3.6%
(四半期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する四半期利益	34.2	35.1	+0.9	+2.5%
四半期利益率	7.7%	6.1%		
非支配持分に帰属する四半期利益	0.8	1.2	+0.4	
為替レート (円)	USD (米ドル)	110.10	135.30	
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	131.16	139.14	
	AUD (豪ドル)	82.33	93.51	

2. 2023年3月期 通期業績予想

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月29日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正することといたしました。

今回の修正は、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域のガス事業を合わせた売上収益が前回公表した予想を上回る見通しであることによるものです。これは主に円安による為替影響及び世界各地でのエネルギー価格の高騰、インフレに伴う販売価格の大幅な上昇によるものです。これに伴い、コア営業利益及び営業利益も前回公表した予想を上回る見通しですが、一部地域でコスト上昇と販売価格の上昇には時間差が発生しています。また、今後の見通しには不確実性が伴い、世界経済の減速により顧客需要が後退する懸念があります。

サーモス事業のセグメント利益は原材料費などの上昇の影響を受けていますがほぼ計画通りとなる見通しです。

当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、支払利息や法人所得税の増加がありながらも増益となる見通しです。

なお、中間配当については、2022年7月29日に公表した予想（1株当たり18円）から変更はありません。

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期予想 <small>(2022年11月1日発表)</small>	前期比		2023年3月期 通期予想 (旧) <small>(2022年7月29日発表)</small>
			増減額	増減率	
(単位：十億円)					
売上収益	957.1	1,160.0	+202.9	+21.2%	950.0
コア営業利益	102.7	115.0	+12.3	+12.0%	107.0
コア営業利益率	10.7%	9.9%			11.3%
非経常項目	-1.5	-2.0	-0.5		-2.0
営業利益 (IFRS)	101.1	113.0	+11.9	+11.7%	105.0
営業利益率	10.6%	9.7%			11.1%
EBITDAマージン	20.4%	18.9%			21.0%
金融損益	-9.5	-14.0	-4.5		-10.5
税引前利益	91.6	99.0	+7.4	+8.1%	94.5
法人所得税	24.9	28.5	+3.6		27.5
当期利益	66.6	70.5	+3.9	+5.8%	67.0
(当期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する当期利益	64.1	68.0	+3.9	+6.1%	65.0
当期利益率	6.7%	5.9%			6.8%
非支配持分に帰属する当期利益	2.5	2.5	-0.0		2.0
為替レート (円)					
USD (米ドル)	113.04	138			115
(期中平均レート)					
EUR (ユーロ)	131.11	140			125
AUD (豪ドル)	83.33	93.5			82.2

※2023年3月期（通期）における為替換算による影響額合計見込み：売上収益 +809億円 コア営業利益 +101億円

(参考情報)

2023年3月期 上半期(4月-9月) 事業セグメント別業績概要

(単位:十億円)		2022年3月期	2023年3月期		前年同期比		
		上半期 (4-9月期)	上半期 (4-9月期)	構成比	増減額	増減率	為替影響
日本ガス事業	売上収益	173.2	194.4	33.9%	+21.2	+12.2%	+0.2
	セグメント利益	13.9	12.7	22.6%	-1.2	-9.1%	+0.0
	セグメント利益率	8.1%	6.5%				
米国ガス事業	売上収益	107.3	145.9	25.4%	+38.6	+35.9%	+24.5
	セグメント利益	14.1	16.0	28.6%	+1.9	+14.0%	+3.3
	セグメント利益率	13.1%	11.0%				
欧州ガス事業	売上収益	94.9	136.3	23.8%	+41.4	+43.6%	+5.7
	セグメント利益	12.7	15.9	28.3%	+3.2	+25.1%	+0.7
	セグメント利益率	13.4%	11.7%				
アジア・オセアニアガス事業	売上収益	58.9	81.8	14.3%	+22.9	+38.8%	+9.0
	セグメント利益	6.6	8.9	15.9%	+2.3	+34.6%	+1.0
	セグメント利益率	11.3%	10.9%				
サーモス事業	売上収益	12.8	15.1	2.6%	+2.3	+17.9%	+0.1
	セグメント利益	2.9	3.3	5.9%	+0.4	+11.0%	+0.0
	セグメント利益率	23.2%	21.8%				
調整額	売上収益	0.1	0.0	0.0%	-0.1	—	—
	セグメント利益	-0.5	-0.7	-1.4%	-0.2	—	—
連結合計	売上収益	447.3	573.6	100.0%	+126.3	+28.2%	+39.7
	セグメント利益	49.8	56.1	100.0%	+6.3	+12.7%	+5.2
	コア営業利益率	11.1%	9.8%				

【日本ガス事業】

産業ガス関連の売上収益は、主力製品であるセパレートガス及びLPガスにおいて出荷数量は減少したものの、コスト上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。また、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの販売は堅調で増収となりました。機器・工事では産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、前期に比べ増収となりました。一方で、エネルギー価格やインフレの影響に伴う製造コスト及び物流費等の上昇が続いており、販売価格の上昇との間に時間差があることからセグメント利益は減少しました。

【米国ガス事業】

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量・売上収益共に前期並みとなりましたが、その他のバルク製品は販売が好調でした。また、炭酸ガスについては特にドライアイスの販売が好調でした。機器・工事では、溶接・溶断関連機材が前期に比べ大幅に増収となりました。また、エレクトロニクス関連の販売も堅調でした。

【欧州ガス事業】

主力製品であるセパレートガスは出荷数量においては概ね前年並みとなりましたが、急激なエネルギー価格等のコスト上昇を価格上昇でカバーできており、これを反映して売上収益は大幅に増加しました。そのほかの事業についても堅調に推移しました。

【アジア・オセアニアガス事業】

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの出荷数量は低調だったものの、売上収益はパッケージガス、オンサイトが好調に推移したことなどにより、増収となりました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、引き続き仕入れ価格の上昇による販売単価の上昇と堅調な販売数量の推移により増収となりました。エレクトロニクス関連では、ガス・機器ともに好調に推移し、増収となりました。

【サーモス事業】

日本では新年度以降、外出等の制限の緩和からケータイマグやスポーツボトルが堅調だったほか、フライパンなどの新製品も好調に推移し、売上収益は大幅な増収となりました。海外での売上収益も概ね好調に推移しました。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの4つの地域で30超の国と地域をカバーする世界第4位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界120カ国以上にTHERMOSブランド製品を供給しています。1910年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000名以上の従業員を擁する私たちは、“The Gas Professionals”として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513

Nshd.Info@nipponsanso-hd.co.jp